

校務の効率化をめざして

-欠席連絡の自動化-

Vol.1 令和6年 11月 19日発行

「校務DX(デジタル・トランスフォーメーション)」をテーマに、「できることから」という視点でコンテンツを提供します。

山口県教育庁教育情報化推進室

その校務、DXできるかも

校務DXを推進する、すなわち学校での働き方をデジタルの力によってより良い形に変革していくためには、「できることから」「一歩ずつ」「確実に」というスタンスで、その変化をプラスの面で実感していくことが大切です。その一助になればと、文部科学省のチェックリストの項目をもとに、コンテンツを提供します。

校務DXチェックリストとは？



文部科学省が「学校が**教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目**」を整理したものであり、令和5年度より小・中学校等の義務教育段階を対象に調査が行われているものです。

文部科学省の令和5年度結果の総括として「校務DXの取組はまだ道半ばであり、改善の余地が大きく、設置者である教育委員会及び学校運営をつかさどる校長のリーダーシップの下、学校全体での改善を推進する必要がある」と示されているところです。

取組項目の例

【★文部科学省チェックリスト項目11★】

児童生徒への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。

R5達成状況

51.3%

【★文部科学省チェックリスト項目18★】

教職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れていますか。

71.9%



その他の取組項目はコチラ



事例紹介① 欠席連絡 × DX

県内多くの学校で取り入れられています！

導入サポートはICT支援員または当室活用推進班まで！

【★文部科学省チェックリスト項目1★】

児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計していますか。



電話連絡による欠席連絡



デジタル化



フォームを利用した欠席連絡のデジタル化

格段に速く！楽に！正確に！

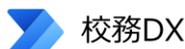
全国の学校における働き方改革事例集(令和5年3月改訂版)p220～232に欠席連絡のデジタル化の事例が掲載されています。

https://www.mext.o.jp/content/20230320-mxt.syoto01-000028353_1.pdf



さらなるDXのアイデア

Power Automateで実施する



欠席連絡の可視化・保護者への自動返信

フォームでの欠席連絡の受付、TeamsやExcelでの職員間での共有・可視化、保護者への確認受付メールの返信を全てPower Automateで自動化する事例を、やまぐちICT新たな学びラボに掲載しています。是非ご覧ください。

ICTを活用した校務DXのヒントになるものが多く紹介されています

